

# 図書館だより

埼玉県立図書館

第 39 号

平成元年 3 月 15 日

編集 埼玉県立図書館  
広報委員会

発行 埼玉県立浦和図書館  
館長 栗藤 一衛  
浦和市高砂3-1-22  
電話 048(829)2821

## 主な内容

- 著者を囲むつどい…………… (1~3)
- 読書グループ紹介…………… (3)
- 随筆「立川文庫」…………… (4)
- 図書館の主な催し物…………… (5)
- 県内図書館めぐり…………… (6)
- 本のひろば…………… (7~8)
- おたずねください…………… (8)



## 「著者を囲むつどい」

昭和六十三年十一月十日、作家の阿刀田 高氏をお迎えして、埼玉県立川越図書館主催の「著者を囲むつどい」が開催されました。

秋晴れの午後、会場の埼玉県川越福祉センターに二三八名の参加者がつどい、講演「書くこと考えること」とそれに続く質疑応答に耳を傾けました。

講演の概要は次ページに記します。

### プロフィール

一九六一年から国立国会図書館に勤務。傍らコラムニストとして活躍。一九七二年より著作活動に専念。一九七九年「来訪者」で、第三十二回日本推理作家協会賞を受賞。同年、短編集「ナポレオン狂」で第八十一回直木賞を受賞。日本推理作家協会理事。

20  
1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
130  
1  
2  
3  
4  
5

「書くこと」

考えること(概要) 講師 阿刀田高氏

一 小説家になるまで
物を書くという仕事は創造的、独創的なことである。一方、作文には模倣の面がある。私は子どものころ作文は嫌いだつたが、独創性を発揮して今は物書きを業としている。小説は興味を持って読んでほしいが、文学者を志そうとは思わなかった。

父の死により進路が一転二転し、大学はフランス文学科に入学した。新聞記者になりたいと思っていたが、途中で肺結核になり諦める。卒業後は国立国会図書館に勤めながら雑誌にコラムを書いていた。そのうち原稿料収入の方が多くなり、悩んだ末、十一年勤めた図書館をやめる。フリーになってからも雑文をしばらく書いており、小説を書き始めたのは今から十六・七年前である。

二 新人デビューとは
ある分野で今までの人が仮に10の仕事をしていたら、11または10の仕事をするのがデビューである。大切な点は、加えた1または0.5が、確実にその新人が発明し加えたもので、

きには悪をすることがある。半分は架空の話だが、「待てよ待てよ、自分のまわりにも」と感じられれば、小説として成功である。二つの存在理由
近代小説は十九世紀初頭に、技術的、社会的条件が整い誕生した。すなわち、印刷術と紙が普及し、余暇を持ち文字を読む能力を身につけた市民階級が胎頭したからである。誕生のときから、近代小説には二つの存在理由がある。

一つは「人生とは何か、人間とは何か。人は如何に生きるべきか」という問いかけに答える面。もう一つは「おもしろかった。いい暇つぶしができた」という娯楽の面。この二つは独立して別々の小説になってもいいし、一つの小説に様々に割合で混んでもよい。私は後者の立場で書くことが多いが、「夜の旅人」は粉川さんを通して人間の一生を問うている作品である。私は、このようなことを考えながら小説を書いている。

要するに、独創性が必要である。そこで、自分にとっての1または0.5の独創性とは何か、を考えた。今までの日本文学は良くも悪くも私小説の伝統を持っている。読むのにつらいときもある。一方、外国文学には作り物の世界の楽しさがある。読後、いい気持ちになれる小説が多い。外国小説のこの味わいを、日本の風土の中で書いてみようと思った。これが私にとっての1であり、0.5である。

ミス터리風の短編を書き始め、比較的早い時期に直木賞を頂戴して職業作家となった。

三 小説の種を考える
私の作品は、ヒッチコックの映画を小説にしたようなものが多い。日常の世界から、最後にどんでん返しがくる。「突拍子もないことは、どんなときに考えつくのか?」よくある質問だが、アイディアが浮かぶのを持って、私はいつも何かを考えている。小説の種が見つかる瞬間は緊張する。その瞬間がいつくるかは不定だが、見つければ、一・二分で小説の骨子も出来あがる。

例一
胃腸薬を買いに行き、店員に「糖

衣錠ですが……」と言われて。十以上と聞き違えたとき、睡眠薬殺人事件に使えないかと思いついた。

例二
四十代の女性の話「ライスカレーにソースをかけるのを見て、この人と結婚しようと思った」を耳にして、ある夫婦の物語を書いた。

例三
酒場の女の話「離婚というのは、たった一つの理由です。わけではないの」。これも小説にした。

例四
ホテルで名物のカキを食べ、夜中に腹痛で苦しんだ人の話を聞いて。「悪い噂を流されては困る。この客には永眠してもらおう」と、ホテルの人たちは思わないだろうか?と考えて、ミス터리「運のいい男」を書いた。

例五
世界的ゲーテコレクター粉川忠氏を東京ゲーテ図書館に訪ねて。ゲーテそっくりの人が現われたら粉川さん、どうなってしまおうだろうか?その人に剝製になっていたらいって……!?と考えて書いた作品が「ナポレオン狂」である。

例六
浦和市

このほか県立図書館では、次のような催しを行いました。

○著者を囲む会 県立浦和図書館
期日 平成元年2月6日(月)
会場 吹上町中央公民館
講師 作家 中沢けい氏
演題 自作を語る「曇り日」について「助詞を付した短篇集の世界」

内容 自分が本を書く時の心構え等を中心に文章の中で、助詞が時間の流れを表現する重要な存在であることを話された。

○文芸講演会 県立熊谷図書館
期日 昭和63年11月5日(土)
会場 寄居町中央公民館
講師 作家 藤原てい氏
演題 生きる「私の歩んだ道とおして」

内容 夫故新田次郎氏を始め、体験記「流れる星は生きている」等の話は多くの参加者が感銘を受けた。

○著者を囲む会 県立久喜図書館
期日 平成元年3月4日(土)
会場 吉川町中央公民館
講師 作家 落合恵子氏
演題 生命の感受性

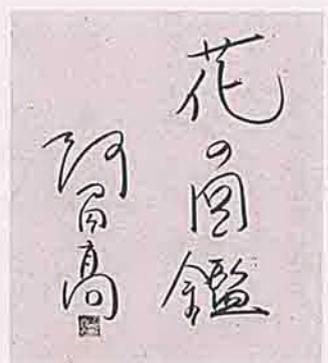
それまで小学校のPTA読書サークルの仲間だった私たちが、これからはもっと本を読み続けたいと話し合いを重ねて「みちくさ」が誕生したのは昭和五十九年五月のことだった。八名でのスタートはいささか淋しくも感じられたが、それなりに話のやりとりが密着した濃いもので、読書会としては、しっかりと読む、調べる、の基本に戻って勉強のやりなおしができたように思う。

ところがこれが長くは続かず、会員の増加と共に月例会の日取り等に無理がでたり、限られた時間では話し合いが不十分になりはしないかという悩みをかかえてしまった。幸い仕事をもつ人が多いことから、都合のよい曜日を選ぶことで解決し、その名も「火曜会」「金曜会」とし、それぞれに活動することになった。

読書グループの紹介

みちくさ 浦和市

粉川氏のコレクション収集の苦勞話を伺って。氏の一生を真正面から扱って伝記を書いた。「夜の旅人」である。以上のような小説の種を、誇張や省略を使って一つの作品に仕上げた小説とする。人物や場所を置きかえることも多い。



四 小説とは何か
これが人生である。小説は、おもしろおかしいだけでは物足りない。フランスのある評論家が次のように言っている。小説とはセ・ラ・ヴィー——これが人生である——。読み終ったとき、「ここに人生がある。人生には確かにこういう面があるな」と読者が感じてくれるものである。先程述べた「運のいい男」には次のことも含めて書いた。人間は個人では善良だが、組織や仲間を守ると

文学散歩を含めて年三回以上の合同例会を設けることで会員の和をはかっているがその一つに、昨年は川端康成の「山の音」を訪ねて、古都鎌倉へ文学散歩を計画、それを基に念願の文集を発行することができた。ほんのささやかな手作りの文集ではあるが、この文集「みちくさ」第一集を大切に、これからの活動の力になればと思っている。

ともあれ、会員十五名、本音で楽しく、継続させよう、を合言葉に、焦ることなく一つ一つ積み重ねていくこと、平成元年に燃えている。



# 立川文庫

大護 八郎

大正期を武蔵野の農村で育った私は、家から小学校までの三キロ余の田舎道を、ズックの靴の紐を長く伸ばして、いつも四、五人で歩いて通った。通い馴れた道であつても、野良犬がまつわりついてきたり、鳥ととんびの追いつ追われつのけんかをしていたり、一列に並んでの登校であつても、長い道のりはあまり苦にならなかつた。

帰りは行列を組むこともなく、三三五五の友達同志の自由な漫歩だったが、高等科になるとふざけっこをすることもなく、申し合わせたように立川文庫の歩き読みであつた。自動車なんかめつたに通らなかつたが、たまたまくとカソリンの臭いをわざとくんくん嗅ぎながら、文庫本をふところにつっこんで後を追う追いつけなくなるとまた歩き読みに熱中する。途中の林にかかると、六ちゃんやエイッとか木に飛びのり、九字を切つて忍者猿飛佐助に早変わり、空をにらんで得意がる。

ドッチボールで帰りがおそくなる、夕飯の火熱しが待っている。薪の束に腰かけて、かまどの火で立川文庫の続きを読みふける。厩で飼葉桶をカタコトさせながら、馬が時折ブルツと胸ふるいをして蠅を追っている。背戸で釣瓶のきしむ音がして、急に空きっ腹が身にこたえてくる。

夕飯がすむと三分芯のランプを思いきり明るくして、黒ずんだ小さい傷だらけの机とは名ばかりのものを台に、少し分厚な少年倶楽部が開かれる。明日友達に返す約束なので、残りの頁が気にかかる。

私の記憶では学校以外では本は歩きながら読むか、火熱しをしながらということにおちつく。学校の教科書を出して読んだ記憶はさっぱりないのが不思議である。たまに漢字の書き取りや算術の計算もしたが、それも三分芯の下で、下敷きらしいものもないので、頁を繰っては鉛筆で書いていく。帳面の頁を新しく開くと、前に書いた鉛筆の跡がはっきり読める。

本といえば教科書以外では、文珠様の緑日に、小間物屋の屋台店の隅の方に積んである立川文庫にとびついて、ブーンとインクのおいを楽

しみながら、どれにしようかと懐ろの蓋口をおさえながら、後での貸し借りを友達と相談しながら決めるのが普通だった。少年倶楽部は坂戸町の安齋か五十子屋に、鎌倉古道と交又する雑木林の下の芝道を、何か宝探しにでもいくように胸をふくらませて、下駄をカタコトならしながら急いだ。白い海軍風のケートルを着け、学帽に詰め襟で、ランドセルを背にした中学生の挿絵を見るのが楽しみであつたし、今度買う本の続きものがどうなるかなどと話をはずませながら足を速めた。それは「ああ玉杯に花うけて」の斎藤五百枝の絵であつたようにも思われる。

後に師範学校に入り、その中学生と同じような服を着た感激は、今も心にしみついていて。師範では綴り方教育で有名だった下山忠先生に国語を教わつたが、先生は「何でも好きな本をどんどん読め。私も若い時から乱読ともいうべき、父の書齋から勝手に本をとり出して読みに読んで。私の一番好きな本は講談本であつた。誰にも本を読めと強く言われたわけではないが、講談本は面白いので、それこそ息もつかないように手当り次第に読みふけた。私が国語教育に自信をもつて当り、綴り方

教育であちこちに招かれて話をするようになったのは、一つには少年の頃から膨大な講談本を読んだお陰だと考えている。内容はともあれ、多くの本を読むことによつて国語力はつくものだ。そのうちに自ら本を選択するようになり、自分の読書の方向は自然ときまってくるものである。読むのだ。読むことだ。」と熱っぽく話されたことが、私も親から「家は火の明るさで夢中になつて読んで。今に師範にでも入れて学校の先生にでもしてやりたい。」などと人に話すのを聞いて「そうだ、俺もうんと本を読んで、いまに先生になるんだ。」と決意させた原動力であつたと思われる。

次々とふえていく本も、勿論本箱などは買ってもらえず、小さい古机や蜜柑箱を台にして読んだ。自分のランプなどは無く、夜なべ仕事をやる親たちのそばで、暗いランプを気にしながらの読書とちがつて、ちゃんとした勉強部屋も机も本箱もあてがわれ、読みたい本は自由に図書館で借りられる御時世の中で、若い人たちはどのようにして多くの本を読んでいるであろうか。

(日本石仏協会会長)



## 3月～6月の 主な催し物

### ■県立浦和図書館

- 郷土を知る映画会
  - 日時 3月23日(木) 14時
  - 内容 「ふるさとの人―高山重忠―」
- 日時 3月23日(木) 14時
- 内容 「忠度桜―深谷―」「義仲誕生の地―嵐山―」
- 日時 4月27日(木) 14時
- 内容 「さつきの空にこいのぼり」「新茶の香り」「さいたま」
- 日時 6月22日(木) 14時
- 内容 「ふれあいのこころ」「荒川―その母なる川―」「入間川をくぐる」
- 春休み子供映画会
  - 日時 4月15日(土) 14時
  - 内容 「わくわくえほん劇場」「がんばれ五色桜」「プーさんと虎」
- 母の日 子供映画会
  - 日時 5月13日(土) 14時
  - 内容 「やさしいライオン」「がんばったねお母さん」
- 新着フィルム映画会
  - 日時 5月25日(木) 14時
  - 内容 「つくる、そだてる―埼玉の淡水魚―」「契約と消費者」「パリオの祝祭」
- 社会映画会

- 日時 6月10日(土) 14時
- 内容 「緑あふれるまちに」「水俣病―その30年―」

### ■県立熊谷図書館

- 名作映画鑑賞会
  - 日時 4月8日(土) 10時・14時
  - 内容 「ユッコの贈りもの」
  - 日時 5月6日(土) 10時・14時
  - 内容 「涙をたらした神」
- 映画会
  - 日時 3月17日(金) 15時
  - 内容 「Lords of Hokkaido」
  - 日時 4月14日(金) 15時
  - 内容 「蝶がとぶ・森」
  - 日時 4月21日(金) 15時
  - 内容 「ふるさとからくり風土記」「ふくさ人形」
  - 日時 5月12日(金) 15時
  - 内容 「子どもたちは避る」
  - 日時 5月19日(金) 15時
  - 内容 「鳥梅」「袖に生きる」
- ビデオ映画会
  - 日時 3月25日(土) 14時
  - 内容 「陽のあたる場所」
  - 日時 5月27日(土) 14時
  - 内容 「ローマの休日」
  - ビデオコンサート
    - 日時 4月22日(土) 14時
    - 内容 「終わりなき伝説」
  - 春休み子ども映画会
    - 日時 3月29日(木) 10時・14時
    - 内容 「ミルクとチョコ」

### 七人の天使たち

- 「黄金のかもしか」
- 県立川越図書館
  - 新着フィルム映画会
    - 日時 3月16日(木) 10時・14時
    - 内容 「エイズ汚染を防ぐ」
    - 日時 3月29日(木) 10時・14時
    - 内容 「食品添加物」「緋の美」
  - 春休み子ども映画会
    - 日時 3月29日(木) 10時・14時
    - 内容 「みなしごハッチ―母に抱かれて―」
    - 日時 3月30日(木) 10時・14時
    - 内容 「くまの子ウーフ」
    - 日時 4月1日(木) 10時・14時
    - 内容 「わくわく絵本劇場」
    - 日時 4月8日(土) 10時・14時
    - 内容 「冒険者たち―カンパと七匹のなかま―」
  - 映画の集い―北海道の自然―
    - 日時 4月21日(土) 10時・14時
    - 内容 「Lords of Hokkaido」
  - 名作映画会
    - 日時 5月13日(土) 10時・14時
    - 内容 「ユッコの贈りもの」
    - 日時 5月26日(土) 10時・14時
    - 内容 「タカちゃん、くるまをつくる」
    - 日時 5月26日(土) 10時・14時
    - 内容 「子どもたちは避る―羽根木プレーパークの遊び場づくり」
- 県立久喜図書館
  - スライドのあとでCD
    - 日時 3月16日(木) 14時
    - 内容 スライド―浪曲と講談―「左

- 映画会
  - 日時 4月20日(木) 10時・14時
  - 内容 「秩父通過儀礼1・2」
  - 日時 4月27日(木) 10時・14時
  - 内容 「秩父通過儀礼3・4」
  - 日時 5月11日(木) 10時・14時
  - 内容 「秩父通過儀礼5」「武甲山」
  - 日時 5月18日(木) 10時・14時
  - 内容 「イーハトーブの赤い屋根」
  - 日時 5月25日(木) 10時・14時
  - 内容 「あ、野麦峠」
- 春休み子ども映画会
  - 日時 3月28日(木) 9時半・10時45分・13時・15時
  - 内容 「ミッキーマウスのキャンピングカー」「フカドン交響楽」
  - 日時 3月28日(木) 9時半・10時45分・13時・15時
  - 内容 「豆象武勇伝」ほか
- 名画鑑賞会
  - 日時 3月24日(金) 10時・13時半・15時15分・25日(土) 10時・13時・14時45分
  - 内容 「運がよけりや」
  - 日時 4月21日(金) 14時
  - 内容 「ユッコの贈りもの」

甚五郎・春風左小刀、ほかCD「津軽じよんがら節」  
スライド―講談―「天保六花撰・河内山松江玄関先」ほかCD「決定盤ノ民謡祝い唄全曲集」から

### 県内図書館めぐり

#### 久喜市立図書館

「生きがいと安らぎのある人間性豊かな田園文化都市」の建設をめざす久喜市に市民待望の市立図書館が一九八七年十月二十日に開館しました。場所は久喜駅東口の吉羽地区で、駅西口にある県立久喜図書館とは反対側です。周辺は新興住宅地で県営や公団の青葉団地などがあります。

建築規模は鉄筋コンクリート造り二階建て、延床面積一、二八三㎡、図書収蔵能力は約八万二千冊です。

一階は一般開架室、児童コーナー、レファレンスコーナー、新聞雑誌コーナー、AV（レーザーディスク・コンパクトディスク）コーナー、プラウジング、対面朗読室、移動図書館用車庫（中庭）、二階は視聴覚室、読書室、郷土資料室、会議室、閉架書庫等を設けてあります。

全体の配色は白を基調に中間色を多く配し、できるだけ明るく親しみやすい雰囲気にしてあります。

図書は赤ちゃんからお年寄までの多様なニーズにこたえられるよう幅

広く揃え、資料の管理をコンピュータにより行い、貸出・返却・検索等をすばやく確実に処理しています。又、利用者のプライバシーが保護されるようになっていきました。

開館してまもなく一年半、当初の混雑もなくなり、館内で落ちついて知的自由が楽しめるようになりました。現在も人気が高いのはレーザーディスクで平日も朝から個人で好きな映画等の鑑賞に利用されています。今後は図書館資料の整備、集金行事の充実、障害者サービスの開始、移動図書館の再開に努め、市民の誰もが気軽に利用でき、地域に根ざした図書館をめざしたいと思えます。



所在地 久喜市吉羽一六五七の五  
電話 〇四八〇一二二一〇一四

#### 朝霞市立図書館

朝霞市立図書館が独立館としてオープンしたのは、昭和62年10月31日。今では利用する人たちも増加し、市民の中へ根をおろしてきています。

この図書館の前は公民館図書室規模のものが二十余年もつづき、市民の間から本格的な図書館がほしいという声があがって作られた建物です。

図書館の中へ一歩入ると、天窓をふんだんに使った明るい開架スペースが目の前に広がります。中央部分に新聞・雑誌・CD・LD等を楽しみ、くつろぎのコーナーがあり、右手には、絵本が表紙をみせて並んだ児童コーナーがあります。おはなし室はふだんは開放していて、子ども達が自由に本を読んでいます。

青少年の場所はティーンズコーナーと名付け、壁には中学・高校生の作品である写真や絵などを展示。寄せられた意見や感想等もはって、意見交換の場となっています。

一般コーナーには実用書を低書架に並べ、本が見つけやすいようにしてあります。奥には郷土資料コーナーもありです。

視聴覚室・和室等もすべて一階に

おさめて、市民も利用しやすく、職員も目が届くようになっていきました。市内五ヶ所の公民館図書室とはコンピュータでつながっています。図書館内には利用者用コンピュータ端末もあり、検索に役立っています。カウンターには端末が埋めこみになっていて、利用者と職員とを隔てないようにくふうしてあります。

建物は大きくなくても、市民と職員の間は近く、をモットーに、職員一同努力しております。



〇建築面積 二、五二〇㎡  
〇延床面積 二、七五二㎡  
〇所在地 朝霞市大字岡四四七  
〇電話 〇四八四一六六一八六八六



#### 阿刀田 高 著作目録

今回は、県立4館所蔵の阿刀田高氏の著作を紹介します。

記載は、書名・出版社・出版年・所蔵館の順で、所蔵の記載のない場合は、4館所蔵を意味します。

明日物語 文芸春秋、87〔川・久〕  
頭の散歩道 文芸春秋、83〔川〕  
頭は帽子のためじゃない

PHP研究所、84〔川〕  
阿刀田高のブラック・ジョーク大全 講談社、80〔浦・川・久〕

あなたの知らないガリバー旅行記 新潮社、85〔川〕  
妖しいクレヨン箱 35のショート 新潮社、88〔川〕

アラビアンナイトを楽しむために ショート 講談社、88〔川〕  
異形の地図 角川書店、82〔川・久〕  
一ダースなら怖くなる 文芸春秋、80

映画周辺紀行 光文社、84〔久〕

Aサイズ殺人事件 文芸春秋、79  
江戸禁断らいぶらり 講談社、82

エロスに古文はよく似合う―私の今昔物語 角川書店、86〔川〕  
お笑いを一席 新潮社、81

影絵の町 角川書店、87〔川〕  
過去を運ぶ足 文芸春秋、82

風物語 講談社、85〔浦・川・久〕  
ガラスの肖像 講談社、82

危険信号 講談社、83〔川・久〕  
危険な童話 新潮社、88〔川〕  
詭弁の技術 即応する頭の回転

ベストセラーズ 83〔浦・熊・久〕  
恐怖コレクション 新潮社、82

恐怖同盟 新潮社、87〔川・久〕  
ギリシャ神話を知っていますか 新潮社、81

黒い箱 新潮社、86〔浦・久〕  
現代小説 1978 角川書店、79

「サン・ジェルマン伯爵考」 新潮社、80

現代小説 1979 角川書店、80  
「夢判断」 新潮社、81

ことばの博物館 文潮出版、80・81  
ダブルブックス No.9 〔浦・久〕  
コーヒー・ブレイク11夜 文芸春秋

82 最新のメッセージ 42のショート ショート 講談社、82〔熊・川・久〕

ザ・エンターテインメント 角川書店、81 〔熊・川・久〕

ザ・エンターテインメント 角川書店、82 〔熊・川・久〕

ザ・エンターテインメント 角川書店、83 〔熊・川・久〕

ザ・エンターテインメント 角川書店、84 〔熊・川・久〕

ザ・エンターテインメント 角川書店、85 〔熊・川・久〕

事件記録帳 光文社、80 〔熊〕

食後の毒薬 ベストセラーズ、87 〔熊〕

「悪魔のささやき」 新潮社、86 〔川〕

食卓はいつもミステリー 新潮社、80・83 〔浦・川・久〕

ジョークなしでは生きられない 新潮社、80・83 〔浦・川・久〕

81 「雪おんな」 〔熊・川・久〕

推理小説代表作選集 1982 講談社

82 「マツチ箱の人生」 〔熊・川・久〕

推理小説代表作選集 1983 講談社

83 「冥い道」 〔熊・川・久〕

推理小説代表作選集 1984 講談社

84 「ありふれた誘拐」 〔熊・川・久〕

数たちの本 講談社、80 〔川〕

食べられた男―42のショートショート 講談社、79

たれかに似た人 新潮社、84 〔浦・川〕

知的時間と遊ぶ本―超思考のレクリエーション・ゲーム ベストセラーズ、78 〔川・久〕

東京ホテル物語 中央公論社、88 〔川〕

時のカフェテラス 講談社、87 〔川〕

ナポレオン狂 講談社、79・82 〔川〕

日本傑作推理選 第3集 光文社、82 〔浦・熊〕

話はいつも神出鬼没―ときにはルバ

ン・ときには鞍馬天狗のように―

ベストセラーズ 87 (浦)

花の図鑑 上・下 日本経済新聞社

87 (川・久)

花のデカメロン 光文社 87 (川)

花惑い 角川書店 87 (川)

早過ぎた予言者 新潮社 82 (浦・川・久)

左巻きの時計 新潮社 86 (浦・川・久)

(新潮文庫) (浦・川・久)

囁きの恋 講談社 80 (川・久)

不安な録音器 中央公論社 86 (川・久)

ブラック・ユーモア傑作選 ―ニッ

「干魚と漏電」 (川・久) 81

「ボン」の黒い哄笑 光文社

ブラックユーモア入門 ベストセラ

ーズ 69・74 (熊・久)

まじめ半分 角川書店 84 (川)

街の観覧車 文芸春秋 83 (川・久)

マッチ箱の人生 講談社 81 (浦・川・久)

待っている男 角川書店 84 (川・久)

迷い道 講談社 85 (浦・川)

真夜中の料理人 講談社 86 (川・久)

ミッドナイト物語 文芸春秋 84 (川・久)

ユーモア一日一言 池田書店 70 (熊)

ユーモア一日一言 しゃれた言葉と

エピソードの泉 改訂新版 池田

書店 80 (久)

ユーモア×ウィット!? 笑いの公

式を解く本 ベストセラーズ 83 (久)

夢判断 新潮社 80 (浦・熊・久)

夜の旅人 文芸春秋 83 (浦・川・久)

ルビンおじさんの冒険 立風書房

82 阿刀田高訳 (川)

冷蔵庫より愛をこめて 講談社 81

編集後記

暖冬に誘われて桃の花も満開となり今年  
は例年より季節の動きが早いようです。  
さて、本号では県立図書館の文化事業の  
中から「著者を囲む会」等を取り上げ、川  
越館の催しにスポットをあててみました。  
各館ごとの内容は二―三ページのとおりで  
すが、各会場とも熱心な県民がつかめ、  
大変好評だったようです。

また、大護八郎氏には研究にお忙しいか  
たわら少年の日の思い出の中から、本を読  
んだ習慣や本を好きになったエピソードを  
交えた玉稿をいただき感謝申し上げます。  
昭和から平成に元号が変りましたが、こ  
の一年間御協力いただいた執筆の方や県  
立各館の皆様には厚くお礼申し上げます。

結し、その後はこれを九四四年ま  
でに二〇%、九九年までに五〇  
%削減するとしている。

参考文献

○イミクス 一九八九 集英社

○恐るべきフロンガス汚染 泉

邦彦著 合同出版

○科学朝日 一九八八年三月・

九月号

おたすねくたさい

問 フロンガスの規制が話題に  
なっているが、その理由は何か。  
答 フロンガスは、炭化水素(メ  
タン、エタンなど)の水素の  
部分を塩素やフッ素で置き換え  
た化合物の総称で、工業的に量  
産されているものだけで二〇種  
類にのぼる。現在、精密機械や  
電子部品の洗浄剤、冷蔵庫やエ  
アコンの冷媒、ウレタンフォー  
ムなどの断熱材料の発泡材、エ  
アゾール、消火剤などに使われ  
ている。化学的に安定した物質

であるため直接人体に影響はな  
いが、成層圏まで上昇すると、  
強い紫外線をあびて分解し、塩  
素を放出するものがある。この  
塩素が触媒として働き、連続的  
にオゾンと反応し、地上の生物  
を保護しているオゾン層を破壊  
する。このため、地表に達する  
紫外線が増え皮膚がんの増加、  
地球の温度を上昇させる温室効  
果など、地球規模での異常気  
象や生態系への影響が心配され  
ている。近年南極の上空でオゾ

ン層が極端に薄くなる現象がみ  
られ、オゾン・ホールと呼ばれ  
ているが、これもフロンガスの  
影響と考えられている。  
一九八五年三月に国連環境計  
画がウィーンで開いた会議で、  
オゾン層保護のためフロンガス  
対策の枠組みを定めたウィーン  
条約が採択された。そして、八  
七年九月にカナダのモントリオ  
ールで調印された議定書では、  
五種類のフロンガスの消費量を  
九〇年まで八六年のレベルに凍